## お芝居を楽しみなから環境について学ぶ





## 「もったいないを取り戻そう」

劇団さくらっ子 田富公演

日本では、年間約 1,700 万トンの食品廃棄物が排出されています。このうち、本来食べられるのに廃棄されているもの、いわゆる「食品ロス」は、年間約 500~800 万トン含まれると推計され、この量は、日本が ODA 援助しているナミビア、リベリア、コンゴ民主共和国3カ国分の食料の国内消費量に相当します。

また、日本国内においては、生活困窮やネグレクト等の理由から、学校給食がない夏休み、冬休みに限って満足な食事が与えられずに体重を減らす子ども達がいます。中央市及び中央市教育委員会においては、2016年に、困窮家庭等の子どもに食糧支援を行っているNPO法人「フードバンク山梨」と県内では初めての「子どもの貧困対策連携協定」を結び小中学校などを通じて、子どものいる困窮家庭の把握に努め食料を送ることによる食品ロス減量の取組みを行っています。

今回は、劇団員の趣向を凝らしたお芝居を通じて「食べられるのに捨てられている『食品ロス』を減らすには?」をメインテーマにおとなも子どもも楽しみながら、真剣に考えてみませんか。

## 上演品目







海がめのお話(パソコン紙芝居)





地球を守れアースマン(パソコン紙芝居)









□ 時 令和2年2月9日(日)

開場 13:00 開演 13:30

会 場 中央市立田富図書館 視聴覚室

対 象 どなたでも(特に幼児から小学生に大好評です)

受 付 田富図書館カウンター及び電話 055-274-3311



【先着 60 名】入場は無料ですが事前の申込が必要です。 小学校低学年以下のお子様は保護者と一緒にご来場願います。